

# すべての府立高校でゆきとどいた教育を保障するため、 緊急に正規教職員の大幅な増員を求める請願

## 【趣旨】

長引く不況が生徒の家庭に深刻な影響を及ぼす中、今年度の高校入試とりわけ夜間定時制高校の2次入試に志願者が殺到し、大量の不合格者が生まれました。このことを受け、来年度、府立高校で大幅な増学級が行われます。父母・府民、生徒たちの切実な要求にこたえるものです。

しかし、このままでは重大な教育条件低下が懸念されます。入学した生徒が卒業に至るまで、ゆきとどいた教育を保障することが大切です。各高校ではHRを多展開してクラス定員を減らし、生徒一人一人に丁寧な指導を行うなどの努力が続けられてきました。ところが、大阪府は教育予算を毎年のように削減し、教務事務補助員等350人の削減、非正規教職員の大量導入、非常勤講師の賃金改悪など、教育切り捨ての施策が行われ、現場では「学校図書館が開館できない」、「実験・実習の回数が減少した」など、教育条件の低下が起っています。短時間勤務の教職員や臨時教職員などの増加で、「正規教員で担任が確保できない」状況すら生まれています。

教職員の長時間過密労働の実態も深刻です。06年度の勤務実態調査（文部科学省）によると、高校教諭（全日制）の長期休業中も含めた1日あたりの平均残業時間は1時間44分、持ち帰り仕事は29分であり、1ヶ月あたりの概算では、40時間超える残業、20時間超える持ち帰り仕事という結果が出ています。この結果、健康破壊がすすみ、府立高校での病気休職中の教職員は、08年度末130人（うち88人が精神疾患）、現職死亡は08年度17人にもものぼっています。教職員は、文字通り身を削って教育活動を行っています。

以上のことから、増学級が行われるもとの、緊急に正規教職員の大幅な増員が必要です。

記

大阪府議会議長 様

2010年 月

**請願事項** 増学級が実施される下で、すべての生徒にゆきとどいた教育を保障するため、府立高校の正規教職員を大幅に増員すること

請願者氏名	請願者住所

連絡先 大阪府立高等学校教職員組合